



一勝地小だより

3号

球磨村立
一勝地小学校

文責：永田

心のきずなを

深める月間

6月12日(月)から23日(金)までを、本校では人権旬間としていきます。また、県内すべての小・中・高で6月を「心のきずなを深める月間」として取組を進めています。

6月6日(火)の朝の活動では運営委員会による『たったさんびきだけのいけ』という本の読み聞かせや、今年度の人権宣言「思いやりで一人一人がつながる一勝地小にしよう」の発表がありました。

この6月には、各学級の授業で人権に関する学習を行うとともに、4・5・6年生の各委員会主催による遊びなど、きずなが深まるような取組も行います。

自分のことも、自分以外の人のことも大切にできる、そんな一勝地小の児童であってほしいと思います。

新体力テスト

6月8日(木)を中心に前後の数日間、新体力テストを行いました。上体起こしやシャトルランなど、よくがんばりました。昨年度の課題は「走力」でした。今年度も結果を分析し、課題の克服に取り組んでいきます。



学校教育目標

ふるさとを愛し、心豊かで、たくましく、共に学び合う児童の育成
～思いやりでみんながつながる一勝地小～

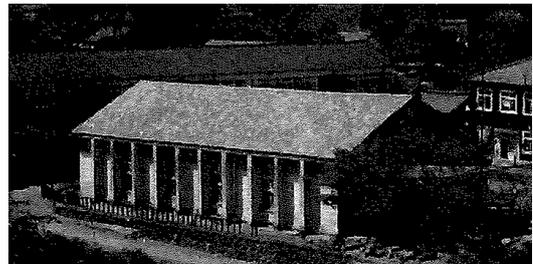
働き方改革に関するお願い

様々な職種で働き方改革が進められています。それは、学校も例外ではありません。しかし、本校においても現状は厳しいものです。正規の勤務時間は午前8時10分から午後4時40分までなのですが、早朝から夜まで、休憩時間も十分に取ることなく、学習指導からトラブル対応など、手前味噌ですが、本校職員は、本当によくがんばっています。また、帰宅後や休日も、プライベートな時間を割いて働いている職員がほとんどです。

しかし、がんばりすぎて体調を崩したり、精神を病んだりしては、元も子ありません。また、過剰労働は質の低下をもたらし、結果的にはプラスにはならないと考えます。

そこで、業務の見直しを行っていきたく思います。その一つとして、学級通信の簡素化を行います(現在1回あたりの作成に平均約2時間かかっています)。用紙サイズを小さくしたり、内容を精選したりします。場合によっては時間割だけを配付する週や通信を発行しない週も出てきますが、どうぞご了承ください。

職員が健康で児童と向き合えるよう、また、教師本来の「教える」という仕事により注力できるよう、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



【懐かしの学び舎】
一勝地第一小学校講堂
(一勝地第一小学校創立百周年誌より)